

製品名: HEXB ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86899**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:20-1:200
分子量	Calculated MW:63 kDa; Observed MW:63 kDa

抗原情報

遺伝子名	HEXB
別名	ENC-1AS; HEL-248; HEL-S-111
遺伝子ID	3074
SwissProt ID	P07686
免疫原	ヒトHEXBの合成ペプチド

背景

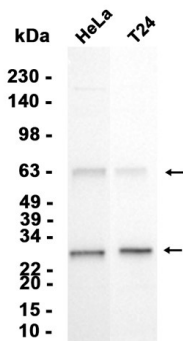
ヘキサミニダーゼ B は、リソソーム酵素 β -ヘキサミニダーゼの β サブユニットであり、補因子 GM2 活性化タンパク質とともに

に、ガングリオシド GM2 および末端 N-アセチルヘキソサミンを含む他の分子の分解を触媒します。β-ヘキソサミニダーゼは、αおよびβの2つのサブユニットで構成され、それぞれ別々の遺伝子によってコードされています。β-ヘキソサミニダーゼのαおよびβサブユニットは、どちらもグリコシル加水分解酵素ファミリー 20 のメンバーです。αまたはβサブユニット遺伝子の変異は、ニューロンにおける GM2 ガングリオシドの蓄積と、GM2 ガングリオシドーシスと呼ばれる神経変性疾患を引き起こします。βサブユニット遺伝子の変異は、サンドホフ病 (GM2 ガングリオシドーシス II 型) を引き起こします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2014 年 5 月]

研究分野

-

画像データ



HEXB ウサギモノクローナル抗体を 1:3000 で使用して、HeLa、T24 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。